

首里豆腐サステナビリティプロジェクト

～データ利活用で新たな食品供給エコシステムを確立する～

総事業費 12,323,110円

事業者名：株式会社 照屋食品(所在地:那覇市/業種:食品製造業)

事業内容

事業目的/概要

●事業目的

2022年度にITベンダーと共に作成した「経営計画の課題整理」及び「IT導入計画書」を基にアナログベースの業務プロセスを一新し、データの一元管理を軸にデータ連携環境を構築、データの活用によりデジタル化を通じた業務改革と持続的な成長を達成する計画になっています。

●事業概要

- ①受発注データの一元管理システムの導入
- ②配送準備・製造量計算システムの導入
- ③衛生管理システムの導入とデータの一元管理

連携IT企業

- 事業者名：株式会社オーシーシー

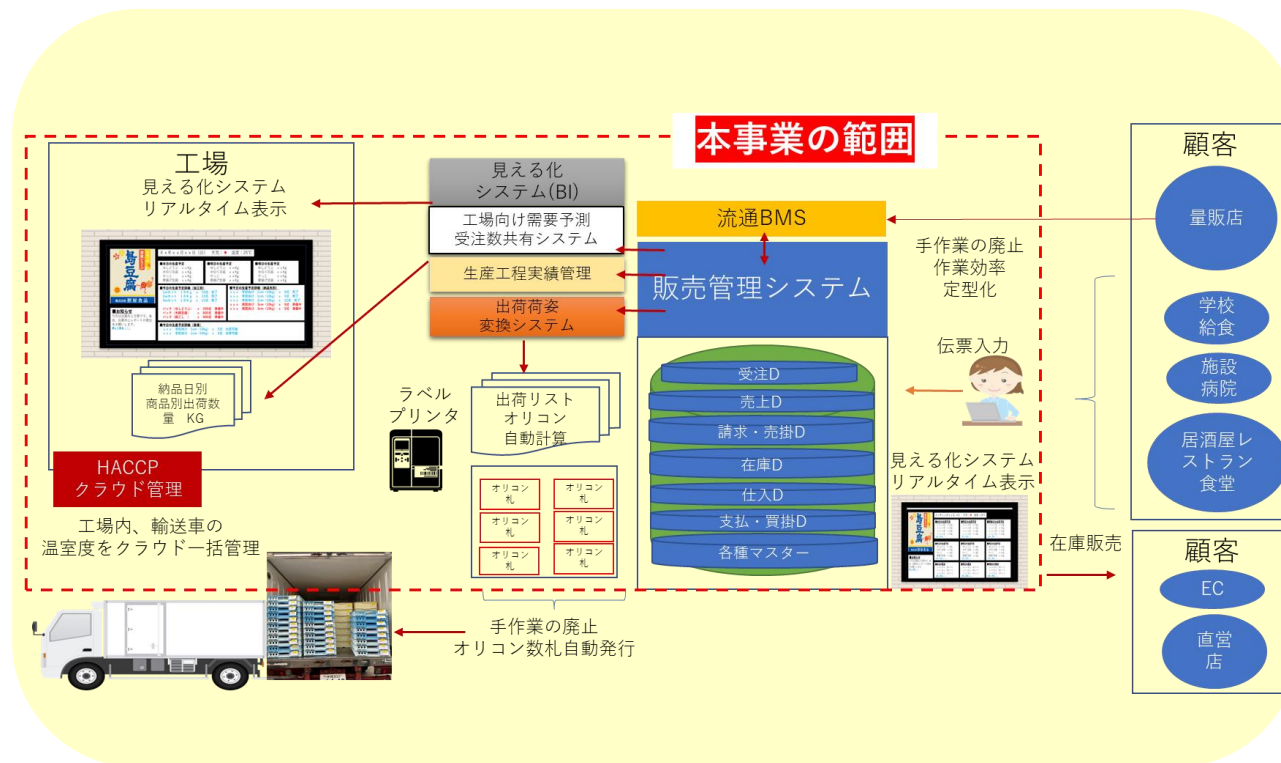
本事業で見込まれる効果

手書き処理や紙による属人的な情報伝達から、デジタルデータによる情報共有で生産性と作業効率がアップ。同時にHACCPの対応により品質向上も図ることが可能となる。また、これによりデータを基にした新商品開発も可能となり、新たなビジネスチャンスの創造に繋がるものと見込んでいる

本事業終了後のビジネス展開や今後のDXに向けた取組

DX推進体制を確立、定期的な改善活動を行うことで「業務プロセスの標準化」「計画的な製造」「情報の共有と利活用」「DX人材の育成」を加速させます。データ一元管理システムの導入と外部データの連携は、生産・販売データを精緻に分析し、市場ニーズに応じた商品開発やマーケティング戦略立案を実現可能とし、新商品の開発に注力することが出来ます。

事業概要スキーム等



～めざす姿～



弊社では、DXを推進し事業継続と共に経営ビジョン「Make everyone smile with TOFU:社員が誇りを持てる「カッコいい」豆腐屋を目指す」を掲げている。そのためにブランディングとデジタル化の強化をベースに食品ロス問題に取組み、廃棄食品の処理還元を行うことでSDGsを兼ね備えた地域CSR活動として展開、地域社会への貢献と共に持続可能なビジネスモデルの構築を目指すことで、企業の成長へ繋げていきたいと考えています。